



春季短期研修 実施報告

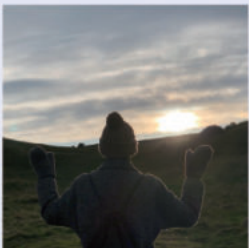
国際センターでは、毎年夏・春の長期休業期間中に、さまざまな国・地域で短期研修を実施しています。令和元(2019)年度の春季休業期間中に国際センター主催の短期研修を3プログラム実施し、のべ50名の学生が参加しました。各研修に参加した学生からの感想を掲載します!



春季英語研修

イギリス・エディンバラ大学

本学協定校<参加15名>
日程:2020年2月2日(日)
～2月23日(日)



私は4月から英語教諭として働くため、その前に自分の英語に磨きをかけたいと思い参加しました。エディンバラでの研修では今後の学習課題だけでなく、スコットランドの人々の生活や歴史など文化的な知見を得ることもできました。安全で綺麗で自然も建造物も全てある街なので、海外に初めて行く方も安心して楽しめると思います。

(英語英米文学専攻M2 佐藤 芽育さん)



春季英語研修

イギリス・ヨーク大学

本学協定校<参加26名>
日程:2020年2月2日(日)
～2月23日(日)



私はこの研修が初めての海外渡航でしたが問題なく安心して過ごすことができました。今回滞在したヨークは歴史的で綺麗で安全な街なので初めての海外で不安という方にもオススメです。大学が応募してる研修のため、すぐに研修者同士で仲良くなれました。英語を学び、異国を体験し、友達も増える、非常に有意義な三週間だったと思います。

(法学科 2年 三宅俊一郎さん)



春季英語研修

アメリカ・カルフォルニア大学サンディエゴ校

<参加9名>
日程:2020年2月2日(日)～2月23日(日)



研修を通じて、言語を超えたコミュニケーションの大切さを学ぶことができました。確かに最初の頃は耳が慣れず聞くことに苦戦を強いられたこともありました。しかし、ホストファミリーが帰宅後に学校でわからなかった点や宿題について手厚いアドバイスをしてくださり、勉学のみならずより多くの知識を深めることができました。そのため、英語力そのものも重要ですが、自分の伝えたいことははっきりとどのような手段でも良いので相手に伝えることは大事なことでと実感しました。この研修に参加できたことは、私にとって本当に一生の宝物です。

(経営学科3年 齋藤慶太さん)



春季中国語研修

台湾・淡江大学

本学協定校(参加予定者6名)
日程:2020年3月8日(土)
～3月22日(日)
(プログラム自体が中止のため実施取り止め)



令和2(2020)年度夏季短期研修の実施について

海外協定校および国内英語教育機関で以下のとおり実施予定です。長期留学の準備や、海外未経験の方も、短期研修から参加してみませんか?

研修名	研修先	募集人数	日程研修期間
英語研修	ヨーク大学(イギリス・ヨーク)	30名	2020年7月30日～8月22日
	ノースカロライナ州立大学シャーロット校(アメリカ・シャーロット)	10～15名	2020年8月21日～9月9日
	タルトゥ大学(エストニア・タルトゥ)	10～15名	2020年8月16日～9月6日
	ブリティッシュヒルズ(日本国内・福島)	30名	2020年8月28日～8月30日
韓国語研修	東国大学校(韓国・ソウル)	15名	2020年8月4日～8月17日
日本研究プログラム	アルガス欧州日本学研究所(フランス・アルガス)	20名	2020年8月31日～9月9日
グローバル・キャンパス・ヨーロッパ	フライブルク大学(ドイツ・フライブルク)	20名	2020年8月4日～8月29日
	フランシュ・コンテ大学(フランス・ブザンソン)	15名	2020年8月2日～8月29日
グローバル・キャンパス・アジア	復旦大学(中国・上海)	20名	2020年8月2日～8月29日
	東呉大学(台湾・台北)	15名	2020年8月2日～8月23日
	高麗大学校(韓国・ソウル)	15名	2020年8月2日～8月22日

※海外短期研修の募集時期・日程の詳細は随時国際センターホームページ、G-Port及び掲示で公示致します。



令和2(2020)年度第1学期以降の募集・お知らせ

2021年度 第1期協定留学プログラム派遣学生募集

本年度5月頃、2021年度第1期協定留学プログラム(留学期間:2021年4月～翌年3月/派遣先:アジア・オセアニア)の募集を行います。募集要項は国際センターホームページ、G-Port、及び掲示等で公示しますので、確認してください。

なお、本プログラムで留学した先輩方の報告書をセンター内で閲覧することができます。国際センターのホームページでも報告書を公開しておりますので、ぜひご活用ください。

(<http://www.univ.gakushuin.ac.jp/global/abroad/message-fromsenior.html>「留学した先輩からのメッセージ」をご確認ください)

チャットルーム2020 ～ネイティブ・スピーカーと話そう!～

国際センターでは、協定・私費留学生など外国語のネイティブスピーカーを交えて外国語のみで会話を楽しむチャットルームを、定期開催しています(試験期間、長期休業期間を除く)。学内で外国語のみで会話が出るチャンスです。この機会を積極的に活用し、奮ってご参加ください。実施予定は国際センターホームページやG-Port 及び掲示等でお知らせします。

TOEFL®攻略コース及びIELTS™対策講座

国際センターでは、英語圏への留学を目指す学生の支援として、TOEFL®攻略コース及びIELTS™対策講座を開講しています。詳細は4月以降、国際センターホームページ、G-Port、及び掲示等で公示します。

- TOEFL®攻略コース(5月開講予定):e-learningによる対策講座
- IELTS™対策講座(9月上旬開講予定):ネイティブの講師によるテーマ別授業



海外留学のための奨学金制度について

本学では、留学に伴う経済的負担を軽減し、できるだけ多くの皆さんが留学等のチャンスを得ることができるよう、さまざまな制度を設けています。各制度の詳細・募集要項は、いずれも国際センターホームページ、G-Port、掲示等により確認してください(独自の奨学金を設けている学部・研究科もあります。詳細は、所属の学部学科事務室にお問い合わせください)。

※①～⑤の内容はいずれも予定です、必ず最新情報を確認してください。

①学習院大学海外留学奨学金

応募条件	「留学願」が承認されて渡航する者
奨学金額	1名につき年間40万円以内(給付)
採用予定数	延べ80名程度
募集時期	年2回(6月、12月)書類審査

2020年度に留学を開始する方を対象とした第2回の募集(6月)については、募集要項を5月に国際センターホームページ、G-Port、及び掲示等で公示する予定です。なお、本奨学金を受給した先輩方の留学報告書(協定留学・協定外留学)が、国際センターにて閲覧できます。

②学習院大学海外短期研修奨学金

応募条件	夏季・春季休業中に3週間以上の海外語学研修・短期研修に参加する者
奨学金額	1名につき7万円以内(給付)
採用予定数	年間170名程度
募集時期	年2回(9月および2月)書類審査

2020年度 留学フェアのお知らせ

国際センターでは、留学や国際交流に関心がある学生が気軽に話を聞き、相談できるよう「留学フェア」を年2回(第1回は6月、第2回は10月)、開催しています。

フェア期間中は、留学経験者による報告会や個別相談会、「チャットルーム」など、日替わりのプログラムを用意します。自由に参加できますのでお気軽にお越しください。

詳細は、国際センターホームページ、G-Port、及び掲示等で公示します。

令和2年度基礎教養科目について

国際センターでは、外国人留学生、及び留学を希望する日本人学生を対象とした基礎教養科目を開講しています。

「英語で学ぶ日本事情～ Introduction to Japanese Culture, Society, and Scientific Research」は、英語によるオムニバス形式の授業で、受講する学生は、日本の文化・社会・科学におけるトピックについて、英語で幅広く学ぶことができます。

また、「海外語学研修」「海外フィールド研修」は、夏季休業期間、国際センター主催の各種短期海外研修のうち、基礎教養科目の対象になっているプログラムに参加する学生が受講できるもので、海外の言語、文化、社会などについて知識を深め、海外での研修をより充実させる目的のもので、受講を希望する方は、本年度のシラバスを確認してください。

③学習院大学北米をはじめとする英語圏への留学促進奨励金 **NEW!**

応募条件	本奨学金対象の国際センター主催夏季・春季語学研修に参加する者
奨学金額	1名につき10万円以内(給付)
採用予定数	夏季10名・春季10名程度
募集時期	年2回(夏季:7月、春季:2月)

④学習院大学語学能力試験受験の助成

応募条件	留学のための語学能力試験を受験する者
奨学金額	1名につき1万円以内(給付)
採用予定数	年間80名程度
募集時期	年2回(7月および1月)書類審査

⑤大学院学生の国外における研究発表援助

応募条件	海外で開催される研究集会等で発表を行う大学院生(共同発表を含む)
奨学金額	1名につき10万円以内(給付)
採用予定数	年間35名程度
募集時期	年1回(4月～翌1月) 書類審査



編集後記

表紙の写真は、英語英米文化学科2年 御園生 幹也さんの作品です。留学先のキャンパスでのワンシーン、街中で見つけた素敵な風景などを題材に募っている「2019年度国際センター写真コンテスト」の応募作品39点の中から、優秀賞に選ばれました。御園生さんは、国際センター主催の夏季語学研修(イギリス・ヨーク大学研修)に参加した際の思い出の一枚として、応募してくれました。空に溶け込むような橋の青さが美しいと感じた、ロンドンのテムズ川に架かるタワー・ブリッジの写真です。優秀賞以外の作品も、皆さんの留学生活での心に残る瞬間が詰まった素敵な写真ばかりでした。巻頭言のメッセージにもあるように、普段の「当たり前」の生活を見直すきっかけとして、皆さんも留学・国際交流に、一歩、踏み出してみませんか?

■国際センター運営委員

2020年度(4月1日現在)

運営委員長	山田 遼生(国際センター所長)
運営委員	加藤 真紀(国際センター)
運営委員	杜 長俊(国際センター)
運営委員	庄司 香(法学部)
運営委員	神戸 伸輔(経済学部)
運営委員	平田 一郎(文学部)
運営委員	渡邊 匠人(理学部)
運営委員	山崎 泉(国際社会科学部)
運営委員	三井 清(副学長)
運営委員	村主 道美(学生センター)
運営委員	杉田 悠(国際センター事務室課長)



発行日/2020年4月1日
編集・発行/学習院大学国際センター

〒171-8588 東京都豊島区目白1-5-1
TEL:03-5992-1024 FAX:03-5992-1025
<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/global/>
(「学習院」ICJ)などで検索してヒットします)
<https://www.facebook.com/ic.gakushuin.ac.jp>

※掲載された学生の所属は、令和2年3月末時点のものです。

学習院大学国際センター

International Centre, Gakushuin University



2019年度国際センター写真コンテスト優秀賞作品



身近にある Another sky 国際センター准教授 杜 長俊



留学って生活を見直すきっかけ!?

「毎日、授業とアルバイトの繰り返しで、楽しいことは何1つない。何かを始めたいけど、何を始めたらいいかわからない…」と思ったりしませんか。私は大学生の時に思いました。その時、1か月の短期留学のプログラムに参加しました。留学先では、「コンビニやスーパーで、

会計をするたびに何かを聞かれると、フリーズしてしまう」「電車のアナウンスを聞いて分からない時、電車に乗っている人の表情を見て推測する」「レストランで注文する前に、必ず小さい声で1回練習する」など、当たり前でできていた生活は思うようにできなくなる経験をたくさんしました。今では、生活に価値を見出すことができない時に、そういった経験を思い出して、生活の「当たり前」を細部まで、かつポジティブに見直すようにしています。生活にちょっとやる気がないなと思う人は、とりえず国際センターに来ませんか。様々な期間の留学プログラムが揃っているのです。

こうして様々な世代、様々な背景、様々な個性の外国人と交流できる機会は、国際センターが今年度も提供していきます。私は、国際交流を通して、言葉だけではなく、生き方や価値観まで交換・更新できると信じます。皆さんは国際交流で得たいものは何でしょうか。



国際交流 on Campus ～「国際センターボランティア」の募集と活動紹介

本学には、2020年4月現在、230名ほどの外国人留学生(私費・協定・国費・研究生そのほか)が在籍しています。国際センターでは留学生の在留管理、学内外の奨学金等経済的支援など、各種相談へ対応するほか、彼らの本学および日本での留学生生活充実のための支援を行っています。そこで、留学生のサポート役として活躍してくれているのが、「国際センターボランティア」の在学生です。外国人留学生の役に立ちたい、彼らに日本語を伝えたい、留学に興味がある、留学生と交流したい、英語や外国語のブラッシュアップを・・・など、など、国際交流に興味のある方はぜひ、ボランティア登録をしませんか?登録の方法は、ホームページG-portで、ご確認くだ、さい。(新入学生は、6月より登録受付を開始します)登録は随時受け付けており、一度登録していただければ、在学中は卒業まで登録を自動延長し、卒業時にデータを削除します。

《活動内容の一例》

- ◎協定留学生パディ
- ◎短期ホストファミリー
- ◎留学生交流行事の企画運営
- ◎伝統文化芸能体験活動の企画運営補助
- ◎チャットルーム企画運営
- ◎留学相談・アドバイス

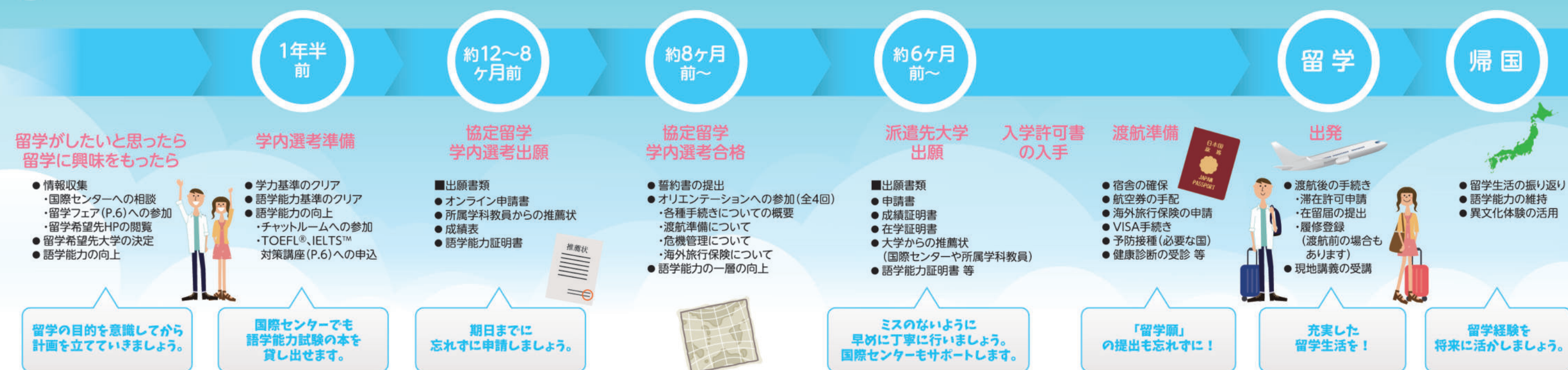


春季短期ホームステイプログラム

※学習院国際交流基金助成事業

長期休業期間中、本学留学生に対して、日本人学生の家庭に1泊～7泊のホームステイ体験を提供するプログラムを実施しています。今回は、のべ4組の留学生及び日本家庭が本プログラムに参加しました。今回は夏季休業期間中に実施予定です。興味を持っていただいた方は次回募集をお待ちください!国際センターホームページ、やG-port、立看板で、お知らせします。





新たに協定を締結しました

この度、学習院大学では新規に下記の大学と大学間協定を締結しました。現在もいくつかの大学と、協定締結の協議を行っています。

本学にとって、ノルウェー、ポーランド、モンゴル、マレーシアの大学とは初めて、フランス、アメリカの大学とは6校目の大学間協定締結となります。これを機に、本学の海外交流が、ますます発展していくことが期待されます。



ノード大学

北部ノルウェーで最大の都市ボーダーに所在する大学で、地域連携に力を入れる一方、グローバルな視点を有する若い大学でもあり、世界中から交換留学生や短期研修参加学生を受け入れており、活発で多様な学生交流をサポートしています。

- 創立：2016年
- 所在地：ノルウェー・ボーダー
- 学生数：約11,000人(2018)
- 学部等：Biosciences and Aquaculture, Education and Arts, Social Sciences 等



オスロ大学

ノルウェーの首都オスロに所在する同国で最古かつ最大の国立大学であり、ノーベル賞受賞者を多数輩出しています。QS World University Rankings(2017年)やTimes Higher Education(2018年)等の著名な大学ランキングでノルウェーにおいて1位となるなどノルウェー有数の大学の1つとして評価されています。全学生数の10%程度が留学生であるなど、国際色豊かな大学です。

- 創立：1811年
- 所在地：ノルウェー・オスロ
- 学生数：30,985人(2018)
- 学部等：Humanities, Law, Mathematics and Natural Sciences, Medicine, Dentistry, Social Sciences, Theology, Educational Sciences



ヤギェウォ大学

古都クラクフに所在するポーランド最古の高等教育機関で、ヨーロッパでも最古の大学の一つであり、コペルニクスら著名人がかつて在籍していました。2018年にはロイターによる「ヨーロッパで最も革新的な大学ランキングトップ100」にも選出されており、京都大学等の日本の大学と学生交換を含む協定を締結しています。

- 創立：1364年
- 所在地：ポーランド・クラクフ
- 学生数：41,661人(2018)
- 学部等：Law and Administration, Philosophy, History, Philology, International and Political Studies, Chemistry, Mathematics and Computer Science 等



ドルノド大学

ドルノド大学は1991年に創立された、モンゴル東部地域では最大の大学で、同地域の人材育成を担っています。20の学士プログラム、6つの修士プログラム及び2つの博士プログラムを有しており、韓国、中国、ロシアの大学と協定を締結しています。

- 創立：1991年
- 所在地：モンゴル・チョイバルサン市
- 学生数：700人
- 学部等：Accounting, Business administration, History, Teacher(foreign language education (English and Russian)), Mathematics 等



ミズーリ州立大学



ミズーリ州立大学

ミズーリ州に所在し、185を数える多彩な学位を展開している大規模総合大学で、15を超える国・地域に協定校を有し、群馬大学、富山国際大学等の日本の大学と学生交換を含む協定を締結しており、また日本人留学生の受入実績も豊富です。

- 創立：1905年
- 所在地：アメリカ・ミズーリ州
- 学生数：26,001人(2018)
- 学部等：Arts, Economics, Global Studies, Social Sciences, Philosophy, Sociology, Chemistry 等



マラ工科大学



マラ工科大学

マレーシアの首都クアラルンプール近郊のシャアラムに所在するマレーシア最大規模の国立大学であり、九州大学、名古屋工業大学、北海道医療大学等の日本の大学とも協定を締結しています。

- 創立：1956年
- 所在地：マレーシア・クアラルンプール
- 学生数：160,957人(2019)
- 学部等：Engineering, Medicine, Applied Sciences, Law, Art and Design, Education, Administrative Science & Policy Studies 等



ストラスブール大学

フランス北東部、人口約27万人の都市ストラスブールに所在するフランスで最大規模の公立大学です。欧州研究大学連盟(LERU)の創設メンバーとして重要な役割を担い、また複数のノーベル賞受賞者を輩出しています。

- 創立：1631年
- 所在地：フランス・ストラスブール
- 学生数：50,822人(2017-2018)
- 学部等：Arts, Literature and Languages, Law, Economics, Management, Political and Sciences, Social Sciences, Social Sciences and Humanities, Science and Technology, Health



留学生バス旅行【霞会館教育助成金事業】

国際センターでは、令和元年10月17日(木)に、霞会館のご助成のもと、本学の留学生40名と高等科の留学生3名の計43名が参加して千葉・南房総へのバス旅行を実施しました。今回はロープウェーで鋸山(のこぎりやま)へ登ったり、日本三大うちわの一つである房州うちわ作り体験を行いました。

参加した留学生たちからは「見学や体験を通して日本文化に触れて、日本をもっと知ることができた」といった声が聞かれ、充実した1日を過ごしてくれたようでした。次回の留学生バス旅行は、来年度5月を予定しています。



冬のフェアウェルパーティ

令和2年1月31日(金)に、この学期をもって留学期間終了となる協定留学生11名と、3月に卒業・修了を控えた私費留学生の送別会を行いました。当日は彼らのパティや日本語講師、私費留学生、ボランティア学生が多数集まり、別れを惜しんでいました。



留学生東京文化体験学習(甲南大学主催)の実施

今年も、令和2年2月2日(日)～4日(火)に実施された甲南大学が主催する東京文化体験学習ツアーに、本学学生10名(留学生3名、国際センターボランティア7名)が参加しました。甲南大学、成蹊大学の学生と共に、グループワークにより日本の歴史、文化、スポーツ等について学びながら東京を再発見する3日間となっただけではなく、他大学の学生との交流を楽しむ機会にもなりました。



文楽鑑賞教室【霞会館教育助成金事業】

国際センターでは、霞会館のご助成のもと、留学生が日本文化及び伝統芸能を学ぶ機会の提供として「文楽鑑賞教室」(令和元年12月7日(土))を開催しました。文楽鑑賞教室では、学習院高等科留学生3名を含む8名の留学生とボランティアの日本人学生2名がともに、文楽の演目「伊達娘恋緋鹿子」他を鑑賞しました。



海外協定校からの留学生

令和2(2020)年度4月来日の協定留学生をご紹介します！

協定校	受入学生	受入学科・専攻	留学期間
東興大学(台湾)	黄 鈺淳 コウ ギョクジュン	日本語 日本文学科	半年間
リヨン政治学院(フランス)	HEYRAUD, CLARA MARIE PENELOPE ヘロー クララ マリー ペネロペ	日本語 日本文学科	半年間
リヨン政治学院(フランス)	PELLERAY, ANNE SYLVIE JEANNE ペレレイ アン シルビエ ジョアンネ	日本語 日本文学科	半年間
パリ東大クレティコ校(フランス)	BOUDALI, MONA DJOHER ブダリ モナ ジョアル	国際社会科学科	半年間

※新型コロナウイルス感染症の拡大により、一部の協定留学生は受入れが延期・中止になったため、上記表に含まれていません。

国際社会科学科 Leo Miuraさん
オーストラリア・ニューサウスウェールズ大学より協定留学



Leo 富士山近郊にて

The semester abroad at Gakushuin University has been a very interesting and eventful experience. The kind staff at the exchange centre were always very helpful and kind. As they organise many opportunities for exchange students to explore Tokyo and its' surroundings, there is never a dull moment thanks to the hard work the staff at the centre. The amount of variety in the environment has something for every type of person. This combined with the various trips the Exchange centre organises will ensure that you get a taste of the deep historical roots Japanese culture has and its everlasting presence in today's society.



Jakob 前列右端

国際社会科学科 Telschow Jakobさん
ドイツ・マンハイム大学より協定留学